

令和3年度 一般社団法人福島県バスケットボール協会 U14 育成センター活動事業
【新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン】

一般社団法人福島県バスケットボール協会強化委員会

以下の項目を実施しても感染リスクをゼロにすることはできません。主催者である我々はもちろん参加者の皆様に、この点を十分理解した上で参加いただくとともに、特段のご協力をお願いいたします。なお、基本方針は、JBAおよびFBAガイドラインに沿って実施します。

1 事業前の対応

- (1) 事業参加者は、主催者が示した「ガイドライン」、「チェックリスト」等を遵守すること。
- (2) 事業会場に入場できる者は、事業関係者、参加者のみとし、かつ事業当日に「健康チェックシート」を提出し受理された者のみとする。
- (3) 事業参加者の健康状態等を把握するため、事業参加者全員に「健康チェックシート」の提出を求める。必要事項を記入し、活動当日、忘れず持参すること。
- (4) 事業前2週間以内に発熱(37.5℃以上)があった場合の対応について
 - ① 日常的に発熱(37.5℃以上)がある場合、「通院する」ように促す。
 - ② 事業当日発熱(37.5℃以上)があったり、体調がすぐれない場合は事業参加を見合わせる。
 - ③ 2週間の期間中に発熱(37.5℃以上)があり医療機関を受診し、医師からの指示があった場合には健康チェックシートの「チェック項目その他(自由記述)」の枠に内容を記入する。
例1 ○月○日通院「自宅療養をして1・2日で熱が下がれば問題なし」と言われた。
例2 ○月○日通院「胃腸炎による発熱」
 - ④ 2週間の期間中に発熱(37.5℃以上)があったが医療機関を受診していない場合で、事業当日発熱が無い者は受付にて確認する。

2 健康チェックシートの取り扱い

- (1) 事業関係者
事業関係者は、会場受付に提出する。
- (2) 主催者
 - ① 会場作成者は会場入口付近に「受付ブース」を設置し、受付担当者を配置する。
 - ② 受付担当者は、受付ブースで提出された健康チェックシートを確認する。
 - ③ 受付担当者は確認後にチェック項目がない者に参加可能の指示をする。
 - ④ 主催者は、事業後、事業参加者の健康チェックシートを保管する(3ヶ月)。
- (3) 会場内
 - ① 選手以外はマスク着用をすること(各自準備する)。
 - ② こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
 - ③ 様々な場面において、他の参加者等との距離を十分確保すること。
 - ④ 昼食をとる場合は、距離を十分とって対面を避けて食事すること。
- (4) 事業でデモンストレーターとなる選手
 - ① 円陣、握手、ハイタッチ、抱擁等の不要な接触を避けること。
 - ② タオル、ボトル等、全てのものを共用しないこと。
 - ③ コート上でのチームメイト、講師との会話の際の距離についても留意する。

(5) その他

- ①ゴミは、各自責任をもって持ち帰ること。
- ②手洗い、手指消毒等の注意喚起掲示をする。
- ③手指消毒液、ペーパータオル等の設置をする。事業主催者が準備し設置する。
- ④窓・ドアの開放や大型扇風機の利用等で可能な限り換気を促す。
- ⑤事業終了後、事業参加者は速やかに会場の外に出ること。
- ⑥事業関係者、選手、講師等の飲料等は各自準備する。
- ⑦除菌シートやアルコールスプレーの持参の協力を依頼する。

3 不測の事態の対応

(1) 事業中に感染者が出た場合

感染者発覚の時点で、速やかに県協会専務理事に連絡し、事業を中止とする。

(2) 事業後2週間以内に参加者に感染者が出た場合

速やかに県協会専務理事に連絡する